

『楽しくまじめな話をしよう』

みんなで創る まちの未来

第1回高校生ワークショップ結果報告書

令和元年5月
兵庫県太子町

1. 趣旨・目的

まちづくりの未来図「第6次太子町総合計画」、土地利用の基本計画である「都市計画マスタープラン」を策定するにあたり、『未来のまちの姿』を若い世代の皆さんと一緒に考えるため、高校生ワークショップを開催しました。ワークショップへの参加、策定過程を通じて、まちの魅力・取り組みを参加者に知っていただくこと、これからのまちづくりに参加していただくきっかけとすることもワークショップの大きな目的としました。

2. 実施日時 令和元年5月16日（木）13時15分～15時05分

3. 対象者 太子高等学校2年生（総合学習で地域づくりを学ぶ生徒12名）
【町内在住4名、町外在住8名】

4. 実施会場 太子高等学校音楽室

5. 町職員 企画政策課（高見・佐々木）、まちづくり課（平田）

6. ワークショップの流れ

① 事前課題：まちのいいところ、よくしたいところ

まちの特徴、統計データ、まちからの希望を提示・配布の上、事前課題として、「まちのいいところ、よくしたいところ」を考えていただきました。

② まち（行政）からの情報提供

まちの現状と課題、これまでのまちづくりの取組などをスライドにまとめ、参加者に情報を提供しました。

③ グループディスカッション

各自が事前課題でまとめた、まちの強み・弱み（いいところ・よくしたいところ）を発表・共有した後に、いいところ（強み）をさらに伸ばすためには、よくしたいところ（弱み）を改善するためにはどうすればいいかを話し合い、各グループで「たいし未来提案シート」をまとめました。

④ 発表・講評

各グループが発表し、それぞれの意見について、まちから質問とそのためにもちがができること、高校生に取り組んでもらいたいことをアドバイスしました。

この発表・講評を基に、これからの一年間、高校生がフィールドワークなどを通して地域づくりについて考え、まちに提案、まちづくりに参加いただく予定です。

Group 1

《太子町のいいところ：強み》

- 公園や保育所など子どもが楽しめる場所が多い。
- 店が多い。
- 交通の便がよい。
- 山の頂上から見る景色が違う。
- 自然が豊か。
- カラオケなど若者が盛り上がる場所がある。
- 特産物を使った料理がある。



《太子町のよくなりたいところ：弱み》

- 空き家が多い。
- イベントが少ない。
- 子どもがいることへのサービスや特典があるとよい。
- ゆるキャラ（たいし君、あすか姫）がかわいくない。
- おしゃれなカフェがない。
- 大型のお店がない。
- 放置されて活用されていない土地が多い。

《10年後の太子町のまちづくりキーワード：老若男女楽しめる町》

- いろいろな言語で斑鳩寺を説明するパンフレットをつくる。
- 子供から老人まで楽しめるイベントをつくる。
- 太子限定の店をつくる。
- 大型ショッピングモールをつくる。
- 空き家を改装してユニークなお店をつくる。
- 道路や歩道をバリアフリー化する。
- 住民特典をつくる（5年住んだら何かもらえる）。
- 個性豊かなお店をつくる。
- ママ友の集いの場をつくる。
- 太子のテレビ番組をつくる。
- レジャースポットをつくる。
- 子どもと一緒に楽しめる場所をつくる。



Group2

《太子町のいいところ：強み》

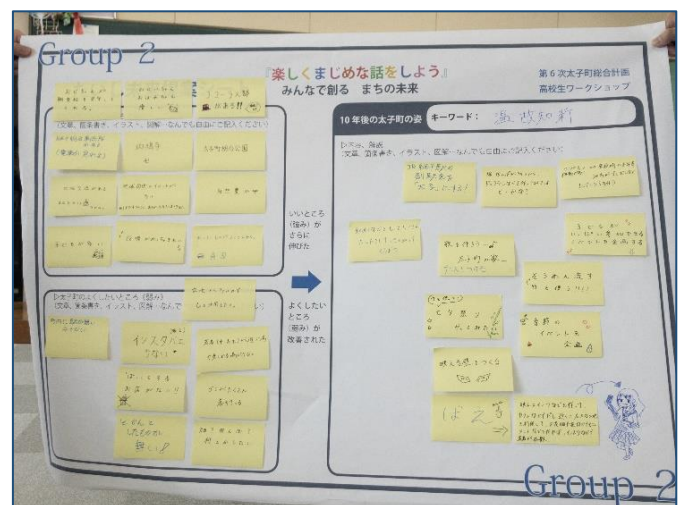
- 地域の人々が登校を見守ってくれる。
- おじいちゃんおばあちゃんがやさしい。
- Jコーラス部がある。
- 網干総合車両所がある（電車が见られる）。
- 斑鳩寺がある。
- 太子町総合公園がある。
- 高校生がまちづくりに参加できる（まなびカフェなど）。
- おたいしマルシェ、あすかまつりなど、地域交流のイベントがある。
- 自然が豊か。
- おいしいものがたくさんある。
- 子どもの数が多い（友だちが作りやすい）。
- 役場がきれいで使いやすい（勉強できる）。

《太子町のよくしたいところ：弱み》

- インスタ映えスポットが少ない。
- 町内に駅がない。
- 遊休地（役場跡地等）の活用がされていない。
- パツとした店、どかんとした場所、店がない。
- 中高生の遊ぶ場、楽しめる場が少ない。
- ゴミがたくさん落ちている。
- 農地をもっと生かして欲しい。

《10年後の太子町のまちづくりキーワード：温故知新》

- JR網干駅の副駅名を「太子」にする。
- 畑や田んぼを活用してドッグランを！
- 高校生が登校時に高齢者のゴミ出しのお手伝いをする（ポイント制）。
- まちの魅力を動画で紹介する。
- 太子町の歌を作り、ダンスを振り付ける。
- たけのこの産地をPRするため、七夕まつりをして、素麺流しをする。
- 映える壁、映えるスイーツ、映えるお花畑をつくり、インスタで発信、若者を集める。



Group3

《太子町のいいところ：強み》

- 親切な人が多い。
- 役場がきれいであり便利（勉強ができる）。
- お店がたくさんある。
- 陸上競技場、総合公園がすごい。
- 保育園がたくさんある。
- 聖徳太子が有名、特産品が多い。
- 交通網（山陽道、バイパス等）がしっかりしている。
- コーラス団体が多く、レベルが高い。
- Jコーラスが頑張っている、人気を集めている。

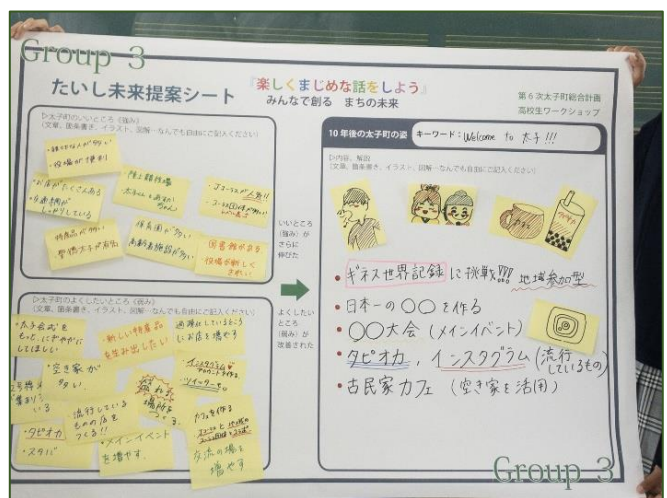


《太子町をよくしたいところ：弱み》

- 幹線道路だけにお店が集まっている。
- 空き家が多い。
- 太子会式のにぎわいが無い。
- インスタやツイッターをしていない。
(若者はフェイスブックから離れている)
- 盛れる場所がない。

《10年後の太子町のまちづくりキーワード：Welcome to 太子！！》

- 町のInstagramをつくる。
- ハッシュタグ（#たいし）を広める。
- 空き家を活用した古民家カフェを呼び込む。
(空き家バンクを活用・PRする)
- タピオカなど、若者に流行しているものをいち早く町内の店舗で取り入れる。
(高校生が提案・呼びかけ)
- ギネス世界記録に挑戦する。
- 日本一の〇〇、〇〇大会などの地域参加型のイベントを企画・開催する。
- 新しい特産品を生み出す。
- Jコーラスと地域のコーラス団体をコラボして、コーラスの町として売り出す。



【第1回高校生ワークショップ講評】

平成30年8月に実施した住民アンケート調査とは違った意見・アイデアが多く出された高校生ワークショップであり、また、町内在住者と町外在住者とはまちを眺める視点が違っているのが印象的な場であると感じた場ともなりました。

例) 地域の登下校の見守り 町内：見慣れたありがたい風景
町外：立ち番はあまり見ない
飲食店 町内：チェーン店が多く地元密着の店が少ない
町外：お店が多くてうらやましい 等

まちの魅力として多くの生徒から挙げられたものは、買い物できる店が多いこと、飲食店が多いことでした。また、交通の便がいい、交通網がしっかりしているなど、特に山陽自動車道やバイパス、JR網干駅の利便性についての評価が高いのも嬉しくありがたい意見と感じました（住民アンケートでは満足度最下位）。

一番多く出た意見は、インスタグラムやタピオカ、古民家カフェなど、若者にとって魅力的な場所、取組が増えてほしいと思っていること、地域が一体となる新しいイベントを行うことなど、高校生も一緒にまちを楽しみたい、楽しむ仕掛けに関わりたいということでした。また、朝の登校を見守る地域の人への感謝の気持ちや、高齢者のゴミ出しを高校生がお手伝いしたいなど、地域のつながりを重視する意見も多く出され、若い世代が居住性や便利さを向上させる都市機能の強化だけではなく、コミュニティの維持・強化など地域のつながりも重視していることがわかりました。

第6次太子町総合計画策定の参考とするとともに、これからのまちづくりに若い世代、そして太子高等学校の意見、力を生かせるようまちづくりを進めていきます。

【今後の予定】

- ・高校生フィールドワーク等（6月～9月）
- ・第2回高校生ワークショップ（9月）
- ・太子高校からまちへの提言書提出（12月）